

.....

.....

.....

1

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[48]歳、 勤続年数[23]年、 現場経験年数[23] 年、 階級[消防司令]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [車長]
○当事者 B	年齢[35]歳、 勤続年数[16]年、 現場経験年数[16]年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [機関員]
○当事者 C	年齢[31]歳、 勤続年数[13]年、 現場経験年数[13]年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 A・B・C	傷病者に接触、傷病程度の観察	事故車両近辺
経過 2	当事者 A	傷病者及び、目撃・通報者から状況聴取	事故車両より 5 ～ 6 m
経過 3	当事者 B・C	傷病者を救急車に誘導（歩行可）	
経過 4	傷病者	横転した車両内の「何か」を探し始める	事故車両
経過 5	当事者 B・C	探し物をしている傷病者に付き添う	事故車両近辺
経過 6	傷病者	トランクから鉈を取り出し、自分の首へ	
経過 7	当事者 B	鉈を持った腕を取り、路上へ押し倒す	事故車両後部路上
経過 8	当事者 C	当事者 B と一緒に路上で取り押さえる	
経過 9	当事者 A	指令室及び警察へ追加情報を入れる	
経過 10	当事者 A・B・C	警察署員へ引き渡す	

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた。集中力、注意力があった。他隊(員)との連携活動がうまくいった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：事故当事者が自損行為にはしるという予期せぬ事態だった。

(図 面)

